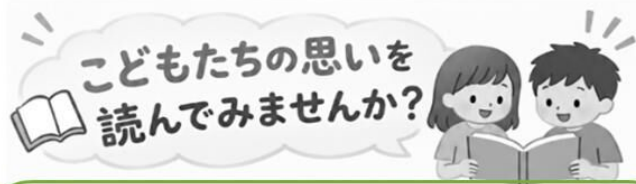


伊勢市立図書館 認知症関連本コーナー

小俣図書館



伊勢図書館



高齢者や認知症にやさしい応援団

こども作文コンクール

こどもたちが日常生活での体験や、読書を通じて
「高齢者」や「認知症」について考え、優しさや
思いやりを育むきっかけとすることを目的に
この取り組みを行っています。

作文の優秀作品がこちらから
見れますのでぜひご覧ください！

伊勢市福祉総合支援センターよりそい



図書館や本に関する お問い合わせはこちらへ

伊勢市立伊勢図書館

開館時間 午前 9:00～午後 7:00
休館日 ・毎週水曜日
・毎月第 2 金曜日
・特別整理期間・年末年始
住所 伊勢市八日市場町 13-35
電話番号 0596-21-0077

伊勢市立小俣図書館

開館時間 午前 9:00～午後 7:00
休館日 ・毎週火曜日
・毎月第 2 金曜日
・特別整理期間・年末年始
住所 伊勢市小俣町本町 2
電話番号 0596-29-3900

認知症に関するご相談はこちらへ

伊勢市 福祉総合支援センターよりそい

相談日 月～金曜日
(祝日・年末年始を除く)
受付時間 月曜 午前 8:30～午後 7:00
火～金曜 午前 8:30～午後 5:15
住所 伊勢市宮後 1-1-35 MiraISE
伊勢市健康福祉ステーション 7 階
電話番号 0596-21-5611

『一般社団法人 伊勢地区医師会・
伊勢志摩区域連携型認知症疾患医療センター』
協力

読む・知る・つながる

認知症に関する おすすめ本



Vol.21 2026 年 9 月 20 日発行

伊勢市『認知症にやさしいまちづくり』の
一環である『認知症にやさしい図書館』の
取り組みを通じ認知症本の処方箋^{じょうほうせん}を
作成しました。

この取り組みは、

「読む・知る・つながる」をキーワードに、
認知症の人本人・家族、支える地域の方々
が本を通じ、認知症に関する正しい知識を
学んでいただくことを目的としています。

また、知識だけでなく、本に癒されたり、
同じ悩みを持つ仲間とつながるきっかけと
なれば幸いです。

本の持つ力をぜひご活用ください。



ルポルタージュ



◇『お母さんは、だいじょうぶ』

認知症と母と私の 20 年』

楠章子／文 ながおかえつこ／まんが

毎日新聞出版

母・トマトさんが認知症になってからの20年、泣いたり笑ったりの日々を「ばあばは、だいじょうぶ」の著者・楠章子さんのエッセイとながおかえつこさんの4コマまんがで温かく綴ります。

介護現場で役立つ

◇『認知症ケア 手早く学べてしっかり身につく！』

理解が深まる！ケア場面別の対応例 62』

裴鎬洙（ペ・ホス）／著 秀和システム新社

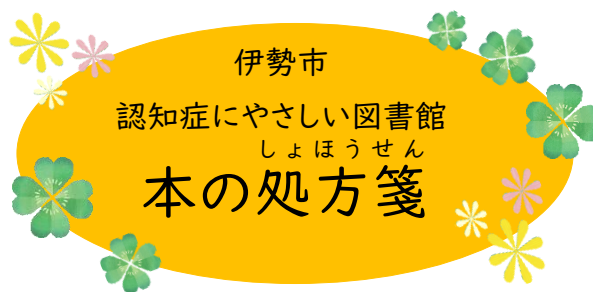
「理由を探る認知症ケア」考案者の著者が、介護現場でよくある場面を取り上げ、適切な対応例をわかりやすく解説します。
初めて介護に携わる人にもおすすめの1冊。

◇『記憶とつなぐ』

若年性認知症と向き合う私たちのこと』

下坂厚／著 下坂佳子／著 双葉社

46歳で若年性アルツハイマー型認知症を発症し、一時は絶望の淵に立たされた著者。メディアやSNSでの発信や様々な出会いを通して見えてきた思いや気づきを、当事者と家族それぞれの視点から綴った1冊です。



※紹介している本は、伊勢図書館
または小俣図書館で貸出ができます。
貸出中の場合は予約ができます。

絵本

◇『いっしょにあるく』

うねのみえこ／さく・え みらいパブリッシング

自分で決め、自分の道を歩んできた「わたし」。認知症になり、できないことが増えても、自分らしく歩み続けたい。誰かにそっと寄り添い、一緒に歩いてほしい。認知症の人の視点から描かれる切実な願いが心に深く響く絵本です。

◇『みどりとなずな』

ねじめ正一／俳句 五味太郎／監修・構成

クレヨンハウス

詩人で作家のねじめ正一さんが認知症の母の介護をするなかで詠んだ30の俳句をもとに、絵本作家の五味太郎さんが監修と構成を手がけた「俳句絵本」。
母への深い思いといのちのつながりの尊さを感じられる1冊です。